

◇2023年 年頭所感

身近な地域で活躍する建築士に！

佐賀県建築士会会長 小島啓



新年あけましておめでとう
ございます。令和5年の新しい年を迎え、謹んで新春のお

慶びを申し上げます。旧年中は建築関連の皆様方には一般社団法人佐賀県建築士会の運営・事業推進に格別のご協力、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

私は、令和4年5月の通常総会の役員改選において、会長に選任されました。昨年はちょうど、建築士会設立70周年の記念すべき節目の年にも

あたり、大役に重責を感じているところです。

私たち建築士会の役割としては、会員への自己研鑽の推進、建築関係の情報提供、会員による地域環境の保全、地域おこし、まちづくりなどの

地域実践活動、行政や関係団体との協力事業として災害復旧支援、建築士試験業務の受託、違反建築防止週間への参加協力、「佐賀県安全住まいづくりサポートセンター」の住宅相談業務、耐震診断業務及び耐震伝道師の派遣、空家等対策協議会への協力、佐賀県版気候風土適応住宅の基準策定検討事業、歴史的建造物

の整備推進、そして将来の建築士育成としての佐賀県下工業高等学校設計競技の実施等様々な事業に取り組んでおります。

昨年、コロナ禍も3年目となり、感染対策を講じながら、少しずつではありますが建築士会のイベントも開催されるようになりました。6月に長崎で開催された九州ブロック研究集会、この大会においては鹿島地区建築士会の地域実践活動発表が見事に九州代表となり、11月の秋田での全国大会に出場し、鹿島市の活動が全国に知れ渡る事となりました。今後も活動を継続し、

佐賀のまちづくりをますます発展させていきたいものです。

建築士会会員の建築士は身近な地域での設計事務所、工務店、建設会社、行政に所属しており、日々自己研鑽を行い準備を整えて、住宅相談・安全安心な住まいづくり・災害復旧支援・脱炭素化による地球環境保全にも今後更に積極的に取り組む団体として、今年も活躍できるよう、会員一同気持ちを一気に、先人の築いた佐賀県建築士会の名に恥じぬよう、より良い歴史を積み重ねられるよう全力で取り組んで参ります。

2023年は、BIM・ICT元年

佐賀県建築士事務所協会会長 内田 要



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、2021年4月より引続き県下の市町において、木造住宅耐震診断派遣事業を行いました。その他、利用者よりの相談業務を行い、社会の一員としてその責任を

果たすよう努めました。また、内向としては、BIM講習会を3回開催し、ほぼすべてのメーカーの啓発研修が終わりました。昨年発足した、BIM研修委員会もほぼ毎月行われ、BIM実践方法を模索しております。若い方々が楽しく語り自由創造する場は、やがて設計業界の将来を担う最前線基地となることでしょう。

一方、今年には佐賀県建築士事務所協会が発足して60周年となります。コロナ禍が未だにおさまらないなか、我々設

計業界もいよいよBIM・ICTの技術変革がスタートする年となりました。(国土交通省では2023年度より小規模建物を除く建物について、BIM設計を条件付とする)今後10年間のなかで、現在とは全く異なる技術・仕事環境となり、その適応に協会一団となって切磋琢磨することになります。

また、この改革のなかで新たな業務にも挑戦することが必要となります。ネットワーキング・発注者支援・CM・リノベーション等です。当協会は、こ

れらの業務を協会の賛同・協力の基に、実用化に向けて実践・試行したいと考えています。社会の変化に先んじて前進することが、何よりも激流を乗り切る方法だと思います。

今後とも、協会の皆様の安定した経営と若手建築士の育成を柱に、建築士事務所協会の地位向上に努めて参りますので、ご支援、ご協力を宜しくお願い致します。最後に皆様方のご発展とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

2023年 頌春

